

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	重度化の利用者が増え外出の機会が少なくなってきた。	重度の方でも外出できる支援を行う 重度の方も外出できる支援を職員間で話し合いプランを作る	座位保持が困難な利用者もリクライニングなどを使用し短時間でも外出できるよう支援する	6ヶ月
2	21	重度の方のレクリエーションへの参加率が減ってきている。	(重度の利用者が多いため) 見るだけでも楽しめるようなレクリエーション作り	見るだけでも楽しめるようなレクリエーションを立案・実施する。	6ヶ月
3	26	介護計画の作成にあたり、職員間ではよく話し合いができていますが家族の意見が少ない	職員間の話し合いだけでなく家族が感じている思いを職員に話しやすい関係・環境作りをする	介護計画を作成する時に家族の要望も反映できるよう話し合いの場を作る	12ヶ月
4	37	認知症の方の行動に対する思いや考え方が職員の間で異なるときがある。	カンファレンスを何度も行い常同行為など1人ひとりを観察し、アセスメントを深めることで統一したケアを行う。	利用者1人ひとりの観察を丁寧に行いアセスメントを深めていく、その時その時にその人にとって最適なケアを生活歴も含め何度も話し合うことで統一して行う。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。